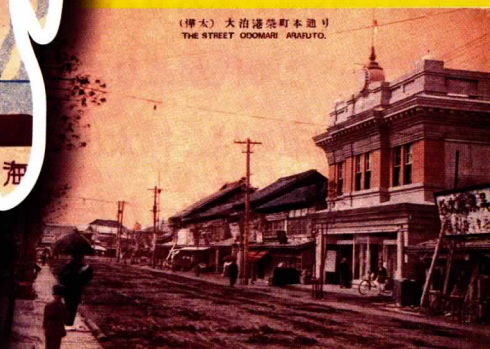


絵はがきを中心に、江戸期から戦中に
かけての樺太の諸相を紹介します。



大げさな
どおは
景の

札幌市中央図書館所蔵資料特別展

絵はがきで巡る 在りし日の樺太

10月8日(土)~11月13日(日)

平日：8時45分~20時

※休館日は17時迄

土日祝：8時45分~17時

札幌市中央図書館 1F 展示室

住所：札幌市中央区南22条西13丁目

アクセス：市電「中央図書館前」下車

お問合せ：011-512-7320

主催：札幌市中央図書館



さっぽろ
05-507-11-1052
23-5-274

「絵はがきで巡る在りし日の樺太」展は、戦前の樺太関係の絵はがき 2281 枚をまとめた状態で収集することができたことから企画したものです。

北海道から最も近い外国であるサハリンは、樺太と呼ばれ日本領であった時代がありました。

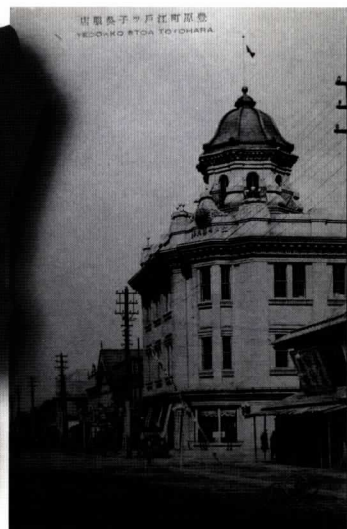
このため隣接する北海道には、樺太出身者やゆかりの方が多く、異国となった樺太への望郷を綴った回想記などが多数出版されています。

このたびの企画展示は、樺太絵はがきを中心に、札幌市中央図書館が所蔵する図書や地図などと合わせて江戸期から戦中にかけての樺太の諸相を紹介し、サハリン・樺太への理解を図るものです。

■今回展示した樺太の絵はがきをはじめ札幌市中央図書館が所蔵する絵はがきは「**札幌市中央図書館 デジタルライブラリー**」[※]としてインターネット上で来春公開予定です。

※「**札幌市中央図書館 デジタルライブラリー**」

札幌市デジタルライブラリー 検索



豊原町江戸ッ子呉服店



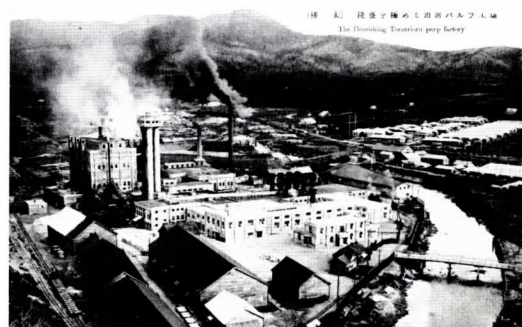
オットセイ
海豹島に於ける臍膈獣の群集



捕鯨船と春風にはためく大漁旗



真岡市街全景



隆盛を極める泊居バルブ工場